

別紙2 第2 2(2) 提案内容の審査についての詳細

以下は、第2 2(2) 提案内容の審査のうち、イ(ア)形式審査及び(イ)実質審査の内容を明確化したものである。

第2 2(2) 提案内容の審査のうち、イ(ア)形式審査について

審査対象	配点 (大)	評価項目	記入をを求める事項	配点 (小)	視点	評価に際しての考え方	採点の基準	
a 提案書類の形式審査	-	【評価項目】	【設問内容】	【様式No.】				
		(a) 入札に当たり、必要な資料が揃っているか。	-	全様式	-	-	要件が満たされているか。	-
		(b) 必要書類の内容が書類間で整合しているか。	-	全様式	-	-	同上	-
b 協力企業等の資格確認	-	【評価項目】	【設問内容】	【様式No.】				
		(a) 協力企業等が競争入札参加資格有資格者であるか。	-	-	-	-	同上	-
c 提案書類の基礎的審査	-	【評価項目】	【設問内容】	【様式No.】				
		(a) 全ての提案内容が要求水準を満たしているか。	1 統括マネジメント業務実施計画 (1) マネジメント体制構築に当たっての基本的事項 -3- ~ (2) 仕様の作成・取りまとめ -4 (3) BPRの概要説明 -5 (4) 協力企業の評価・選定 -6 (5) 病院のニーズ・要望事項等の把握及び仕様への反映 -7 (6) 協力企業社員を対象にした各種教育・研修 -9 (7) システム・インテグレーション業務 -12 2 病院施設等施設整備業務実施計画 (1) 施設整備業務取組体制 -1 (2) 病院施設等の計画の諸元等 -3 (3) 事前調査計画 -4 (4) 設計計画(意匠・構造・設備・仮設棟) -5~8 (5) 工事計画 -9 (6) 工事監理計画 -10 (7) 移転計画 -11 (8) 設計図面等 3 病院施設等維持管理業務実施計画 (1) 仕様 -1~5- 4 病院運營業務実施計画 (1) 仕様 -1~8- -1~9 5 調達業務実施計画 (1) 調達に当たっての考え方 -1~3-	-	1 全ての提案内容が要求水準を満たしているか。	同上	-	

審査対象	配点 (大)	評価項目	記入を求める事項	配点 (小)	視点	評価に際しての考え方	採点の基準
c 提案書類の基礎的審査	-	(b) 全ての業務について、提案された仕様とサービスの対価の内訳との整合が取れているか。	c(a)の「記入を求める事項」に以下を加味 1 統括マネジメント業務実施計画 (1) マネジメント体制構築に当たっての基本的事項のうち、費用見積り -3- 2 病院施設等施設整備業務実施計画 (1) 費用見積り -11- -12 3 病院施設等維持管理業務実施計画 (1) 費用見積り -1~5- 4 病院運営業務実施計画 (1) 費用見積り -1~8- 5 調達業務実施計画 (1) 費用見積り -1~3-	-	1 全ての業務について、提案された仕様とサービスの対価の内訳との整合が取れているか。	要件が満たされているか。	-
		(c) サービスの対価の算定方法が入札説明書等に示した前提条件を正確に反映しているか。	1 統括マネジメント業務実施計画 (1) マネジメント体制構築に当たっての基本的事項のうち、費用見積り -3- 2 病院施設等施設整備業務実施計画 (1) 費用見積り -11- -12 3 病院施設等維持管理業務実施計画 (1) 費用見積り -1~5- 4 病院運営業務実施計画 (1) 費用見積り -1~8- 5 調達業務実施計画 (1) 費用見積り -1~3- 6 事業計画 (1) 年度別サービスの対価支払予定表 -14 (2) 収入計画及び資金計画 -15 (3) 借入金返済計画 -16 (4) 長期収支計画 -17 (5) キャッシュフロー計画 -18	-	1 物価変動率を見込まないで計算しているか。 2 入札説明書等で指定した金利を用いているか。 3 支払利息の計算方法は適正か。 4 サービスの対価の総額が、業務ごとに見積もられた費用を基に、適正に算定されているか。	同上	-
		(d) 事業遂行能力	1 有価証券報告書等 指定様式なし	-	1 資力 (1) 事業を行うに当たっての資金確保は可能か。 2 信用力 (1) 事業を計画どおり実施し得る財政力(体力・安定性)があるか。 3 債務返済能力 (1) 返済不能となる危険性がないか。	同上	-
		(e) 事業履行の確実性	1 事業計画提案書 (1) 年度別サービスの対価支払予定表 -14 (2) 収入計画及び資金計画 -15 (3) 借入金返済計画 -16 (4) 長期収支計画 -17 (5) キャッシュフロー計画 -18 (6) 事業の安全性確保計画 -19 (7) リスク対応計画 -20	-	1 事業計画の確実性 (1) 運転借入は発生していないか。 (2) ダウンサイドリスクの検討は十分なされているか。 (3) 資金不足対策は実効的か。 2 リスクマネジメント能力 (1) 考え得るリスクが網羅的に把握され、かつ、適切に分担されているか。 (2) リスクへの対応は実効的か。 (3) 事業内容に見合った保険を付保しているか。	同上	-

全てを満たしていれば 100

(-)

A 性能評価点

審査対象	配点 (大)	評価項目	記入を求める事項	配点 (小)	視点	評価に際しての考え方	採点の基準	
a 改修事業への取組み	200	【評価項目】	【設問内容】	【様式No.】				
		(a) 本事業における改修の特徴及び考え方を理解し、対応できる計画となっているか。	1 改修に対する認識 (1) 改修工事の特徴 (2) 改修工事においてSPCに求められている役割	- 2 -	30	1 事業の理念や目的を理解しているか。 2 改修工事に伴うリスクを十分に把握し、対応策をとっているか。 3 工事及び運営の前提条件が変更となった場合に、臨機応変に対応し、工事を円滑に進めることができるか。	的確性(明確かつ具体的) 実現性 整合性 有効性	5(配点×1.0): 大変評価できる。 4(配点×0.8): 評価できる。 3(配点×0.6): ある程度評価できる。 2(配点×0.3): あまり評価できない。 1(配点×0.0): 全く評価できない。
		(b) 工事期間中における安全性が十分に確保される計画となっているか。	1 改修に関する具体的提案 以下の部門ごとに記述 (1) 全体 (2) 病棟部門 (3) 外来診療部門 (4) 中央診療部門 (5) 供給部門 (6) 管理部門 (7) 研究部門 2 設計図面等	- 9 - のうち、2 - 7 - ~ のうち、4 設計図書等	100	1 工事工程、工事手順は安全性の高いものであるか。 2 粉じん、騒音、振動等、患者の安全性に対する配慮が十分になされているか。 3 現場作業における安全管理体制が十分に確立されているか。 4 工事関係者、来院者の車両・歩行動線等が適切に計画されているか。	同上	同上
		(c) 工事期間中における、病院運営が円滑になされる計画となっているか。	同上	- 9 - 設計図書等	40	1 病院経営に対する影響をできる限り減らすような工夫がなされているか。 2 患者の療養環境を快適に保つ工夫がなされているか。 3 病院職員の労働環境を良好に保つ工夫がなされているか。	同上	同上
		(d) 移転時の運営の切替えが安全かつ円滑に実施される計画となっているか。	1 工事期間中の部門の移行において発生が予想される問題点とその対応策 以下の事項ごとに記述 (1) 患者移送 (2) 維持管理及び病院運営業務の準備 (3) 病院情報システム (4) 医療機器 (5) 備品等 (6) その他	- 11 -	30	1 患者の安全対策や移転の際の適切な搬送ルートの確保が図られているか。 2 既存施設で現行業務を実施しながらも、工事後の業務開始に向けて準備が適切になされる体制となっているか。 3 病院情報システム、医療機器等をできる限り止めることなく、稼働できる体制が取られているか。	同上	同上

審査対象	配点 (大)	評価項目	記入を求める事項	配点 (小)	視点	評価に際しての考え方	採点の基準	
b 施設整備 (設計の理念やアイデア)	200	【評価項目】	【設問内容】	【様式No.】				
		(a) 病院の持つ問題点・課題に対し、有効な解決策が示されているか。	1 施設面での問題点・課題を改善する具体的提案 以下の問題点・課題の解決策を記述 (1) 狭あい化 (2) 部屋数不足 (3) 段差 (4) 設備の老朽化・不足 (5) 空調等の快適性不足 (6) 清汚の区別・清汚動線の整理 (7) その他 2 設計図面等	- 2 - 設計図書等	40	1 改修工事を経て院内の医療提供環境の質が向上しているか。 2 患者の療養環境や職員の労働環境が向上しているか。 3 バリアフリー化を実現させるための工夫がなされているか。	的確性(明確かつ具体的) 実現性 整合性 有効性	5(配点×1.0): 大変評価できる。 4(配点×0.8): 評価できる。 3(配点×0.6): ある程度評価できる。 2(配点×0.3): あまり評価できない。 1(配点×0.0): 全く評価できない。
		(b) 施設のレイアウトが機能的かつ合理的なものとなっているか。	1 機能的かつ合理的な設計の工夫 (1) 全体 ・アプローチ ・駐車場 等 (2) 病棟部門 (3) 外来診療部門 (4) 中央診療部門 (5) 供給部門 (6) 管理部門 (7) 研究部門 2 設計図面等	- 5 - のうち、1&2 - 5 - - 7 - ~ のうち、1&2 設計図書等	90	1 総合診療基盤を活用しつつも、がん医療と感染症医療を専門とする病院として相応しい設計となっているか。 2 患者、利用者の視点に立った設計となっているか。 3 部門ごとの配置が有機的に連携し、患者の利便性の向上や円滑な病院運営に繋がっているか。 4 合理的かつ業務の安全性を確保した動線となっているか。 5 地域に対し配慮された計画となっているか。 6 将来の環境変化に弾力的に対応できる計画となっているか。	同上	同上
		(c) 災害時等における病院機能の維持に有効な対策がなされているか。	1 震災対策 (1) 建物の耐震に関する具体的提案 (2) 震災時における建物内部の被害を最小化するための具体的提案 (3) 災害時の復旧に関する具体的提案 ・バックアップ(エネルギー等) ・通信、連絡手段 2 非常時に備えた対策等 (1) 新興感染症の大流行や大事故の発生等、非常時に備えた対応の具体的提案	- 6 - 7 - ~ のうち、3 - 5 - のうち、5	40	1 耐震性の向上のための効果的な提案がなされているか。 2 建築基準法で定める極めて稀に発生する大地震(兵庫県南部地震級の震度6強から7程度の地震)時に予測される床応答加速度(フロアレスポンス)に対して、家具や備品等の転倒防止についての効果的な提案がなされているか。 3 地震等の災害時における病院機能の維持について、どのような配慮や工夫がされているか。 4 新興感染症の大流行等、非常時に病院が対応できるための対策がなされているか。	同上	同上
		(d) 快適性とホスピタリティを備えた施設が実現されるか。	1 快適性やホスピタリティの向上のための具体的な工夫 以下の場所ごとに記述 (1) 全体 (2) 病棟部門 ・4床病室(一般病棟) ・1床病室(一般病棟) ・1床病室(緩和ケア病棟) ・食堂・ディーコーナー ・廊下 (3) 外来診療部門 ・待合 ・診察室 ・廊下 (4) 中央診療部門 ・代表的な諸室 (5) 供給部門 ・エレベーター (6) 管理部門 ・利便施設 (7) 研究部門	- 5 - &	30	1 最先端の機能を有する病院として、患者・関係者等の病院利用者にとって大きな改善から細やかな工夫まで療養環境の向上が図られているか。	同上	同上

審査対象	配点 (大)	評価項目	記入を求め事項	配点 (小)	視点	評価に際しての考え方	採点の基準	
c 病院運営・維持管理	100	【評価項目】	【設問内容】	【様式No.】				
		(a) 維持管理・運営期間中を通して、病院運営業務及び維持管理業務が適切になされる体制となっているか。	1 下記2～4を除く業務の仕様(実施方法・体制・手順等)	- 1 ~ 5 - - 3 - - 5 ~ 8 - - 9	30	【共通】 1 中長期的な視点に立った内容となっているか。 2 ライフサイクルコストを考慮した内容となっているか。 3 適切に運営・維持管理がなされる人員配置、体制となっているか。 4 社員の教育・研修が適切に計画されているか。	的確性(明確かつ具体的) 実現性 整合性 有効性 新規性	5(配点×1.0): 大変評価できる。 4(配点×0.8): 評価できる。 3(配点×0.6): ある程度評価できる。 2(配点×0.3): あまり評価できない。 1(配点×0.0): 全く評価できない。
			2 医事業務の仕様(実施方法・体制・手順等)	- 1 -	10	【個別】 以下の業務については、【共通】に加え、次の視点を加える。 1 D P Cをはじめ、将来的な診療報酬改定等に対し、病院を的確に支援できるか。 2 診療報酬の請求及び徴収を適切に行い、適正な債権管理をできるか。	同上	同上
			3 検体検査業務の仕様(実施方法・体制・手順等)	- 2 -	10	【個別】 以下の業務については、【共通】に加え、次の視点を加える。 1 病院の医療機能の特性を踏まえた仕組みとなっているか。 2 検査精度の維持・向上を図る体制、仕組みとなっているか。 3 効率的で経済的に検査を実施できるか。	同上	同上
			4 食事の提供業務の仕様(実施方法・体制・手順等)	- 4 -	10	【個別】 以下の業務については、【共通】に加え、次の視点を加える。 1 病院の医療機能の特性を踏まえた仕組みとなっているか。 2 食事の提供を通じて、患者の快適な療養環境の向上に寄与しているか。 3 診療報酬改定等、環境の変化に際しても質の高い食事を提供し続けられるか。	同上	同上
		(b) 調達効率が効率的かつ実効的に行われる計画となっているか。	1 調達の方法	- 1 -	40	1 効率的な調達が行えるか。	同上	同上
			2 調達についての考え方 (環境が変化した場合であっても、約束した値引率で確実に購入ができる仕組みを含む。)	- 2 - - 3 -		2 提案内容は根拠に基づいたものであり、その実現性が十分に確認できるか。 3 (医薬品・診療材料等調達業務のみ)診療報酬改定等による価格の見直しに柔軟、迅速かつ正確に対応できる計画となっているか。		

審査対象	配点 (大)	評価項目	記入を求める事項	配点 (小)	視点	評価に際しての考え方	採点の基準	
d 事業全体のマネジメント	150	【評価項目】	【設問内容】	【様式No.】				
		(a) 事業期間中にわたり、有能なマネジメントがなされる仕組みが構築されているか。	1 当面の統括マネジメント体制 2 当面のマネジメント担当予定者の経歴、実績等 3 代表企業のサポート体制 4 有能なマネジメント体制を継続するための具体的方策 5 経営支援の体制	- 3 -	40	1 マネジメントの各機能を発揮するための仕組みが織り込まれているか。 2 病院との情報・意見交換を的確に行うことができ、仕様等の提案に柔軟かつ迅速に反映できるような体制となっているか。 3 協力企業をマネジメントできる専門性と交渉力、指導力が備わっているか。 4 仕組み上の欠点、すなわちモラルハザードが発生することが予想される場合、それを回避するための対策は講じられているか。	的確性（明確かつ具体的） 実現性 整合性 有効性 新規性	5（配点×1.0）： 大変評価できる。 4（配点×0.8）： 評価できる。 3（配点×0.6）： ある程度評価できる。 2（配点×0.3）： あまり評価できない。 1（配点×0.0）： 全く評価できない。
		(b) 情報システムに対する対応が適切になされる仕組みとなっているか。	1 システム間の調全体制 2 システムの接続に当たり、不具合が生じた場合の対応策 3 病院情報システム等の支援に関する具体的提案	-12	40	1 将来の情報技術の進歩に対応できる体制となっているか。 2 システムの接続や変更に伴う不具合に対し、適切に対応できる体制となっているか。 3 病院が導入するシステムのバージョンアップやハードの更新に際して、的確に支援ができる体制となっているか。 4 診療情報のみならず臨床データ等、各種統計データが適宜、抽出できる仕組みを有しているか。	同上	同上
		(c) セルフモニタリングの方法が適切で、サービスの質の維持が図られる仕組みとなっているか。	1 セルフモニタリングの具体的方法 2 サービスの質を恒常的に維持するための工夫 3 サービスの質が要求水準を下回った場合の改善プロセス	- 8	30	1 業務の実施プロセス及び結果の把握方法は適切か。 2 協力企業を要求水準達成に向かわせる仕組みを有しているか。 3 協力企業が提供する業務について、要求水準未達が続いた場合の対応方法は適切かつ実効的か。	同上	同上
		(d) 将来の環境変化に対応できる事業計画となっているか。	1 外部環境の変化を適切に把握する仕組み (1) 医療制度（特に診療報酬制度） (2) 患者のニーズ (3) 医療技術 2 環境が変化した場合の仕様の修正方法、その手順及び実現の手段	-10	40	1 外部環境の変化を的確に把握し、病院の要望を適時、的確に汲み上げながら、適切に業務内容の見直しを行うことができる仕組みを有しているか。 2 契約金額の範囲内で、仕様の内容の修正を行うことができる仕組みを有しているか。 3 その時々で最もふさわしいと考えられるサービスが提供できる協力企業を選定し、当該企業に業務を担わせることができる仕組みを有しているか。	同上	同上
A 性能評価点	650	(650)						
B 価格点	350	財政資金の効率的かつ効果的な活用がなされているか。	入札金額	- 3	350	-	提案価格のうちの価格を点数化し、価格点を算定する。	価格点算定のための計算式は、以下のとおりである。 (計算式) 350 - ((入札金額 - 最低入札金額) × (23 / 10 ⁹))
合計(A + B)		1000						

(注) 本別紙の挿入に伴い、平成18年5月31日付の入札説明書別添資料2 審査基準に記載している別紙2の見出し符号は、別紙3に変更する。